

校長室だより

3月②号

令和6年度修了式 「ありがとうございました」



「暑さ寒さも彼岸まで」。よくいわれることばですね。ことばとおり、お彼岸を終え日増しに暖かい日がようやくやってきました。桜の開花が少しずつ近づいてきた「春の香り」が漂います。校庭の桜の木、和歌山城の桜の木々の蕾が随分膨らんできました。玄関に植樹した沈丁花の花びらも開きました。とはいえ、日々の寒暖差が激しい毎日。体調管理には十分にお気をつけください。

さて、去る3月18日に小学部6年生中学部3年生のみなさんが全員そろって卒業されました。凜として立派になったその姿に「成長」の「ひとこと」が最もふさわしい花むけのことばでした。「答辞」で一人ずつが話しされた「思い」、そしてスクリーンに映し出された入学式の思い出写真をみると、身体の成長はもちろん、表情も「たくましく」なりました。まだまだ、学校生活の通過点ではありますが「大きな節目」を迎え、次のステップに入られる卒業生のみなさんに「祝福」と「期待」の気持ちを思いっきり詰め込んで、お一人お一人に「卒業証書」をお渡しさせていただきました。保護者・ご家族、そして支えていただいた多くの方々に感謝申し上げます。

そして、在校生の皆さんは24日に「修了式」を行いました。1年間頑張った「大きな頑張り」「大きな成長」「大きな学習成果」を全員評価し褒めてあげました。クラス教室においても担任の先生から「がんばり」を評価してもらい、友だち同士でも認め合いました。保護者の皆様方も含め、辛い日、しんどい日、不安な日も多かったと思います。猛暑の日、極寒の日、強風の日、大雨の日も、負けずにスクールバスや徒歩、自転車、公共交通を使って登校する一人一人の姿はいつも敬意を表しました。ようやく学校に着いて挨拶を交わしたみなさんの表情は私の心に焼き付いています。「到着した」嬉しさとホッとした安堵感がにじみ出ていました。このたくましさは、絶対にお一人お一人の今後の人生の「生きる力」につながっていると確信しています。よくがんばりました！。

本校の学校運営を1年間終了できたのも、主役である児童生徒はもちろんのこと、保護者ご家族のご理解とご協力、地域の方々、福祉、労働、医療等関係機関の皆様方、企業様や多くの事業所の方々、大学の方々等、数え切れないほどの多くの皆様方の支えのお陰であると「感謝」のことばしかありません。本当にありがとうございました。教職員を代表してお礼申し上げます。そして令和7年度も引き続きよろしくお願い申し上げます。

